

スコアシート

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
0 建築物の環境品質・性能						2.9
Q-1 室内環境			0.34			2.9
1 音環境		2.6	0.15		-	2.6
1.1 騒音		2.0	0.40		-	
1 暗騒音レベル		2.0	1.00	3.0	-	
2 設備騒音対策					-	
1.2 遮音		3.0	0.40		-	
1 開口部遮音性能		3.0	0.60	3.0	-	
2 界壁遮音性能		3.0	0.40	3.0	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0	-	
2 温熱環境		3.0	0.35		-	3.0
2.1 室温制御		3.0	0.50		-	
1 室温設定		3.0	0.30	3.0	-	
2 負荷変動・追従制御性					-	
3 外皮性能		3.0	0.20	3.0	-	
4 ゾーン別制御性		3.0	0.50		-	
5 温度・湿度制御					-	
6 個別制御					-	
7 時間外空調					-	
8 監視システム					-	
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	-	
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	-	
3 光・視環境		3.0	0.25		-	3.0
3.1 昼光利用		3.0	0.30		-	
1 昼光率		3.0	0.60	3.0	-	
2 方位別開口				3.0	-	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	-	
3.2 グレア対策		3.0	0.30		-	
1 照明器具のグレア					-	
2 昼光制御		3.0	1.00	3.0	-	
3.3 照度		3.0	0.15		-	
1 照度		3.0	1.00	3.0	-	
2 照度均質性					-	
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	-	
4 空気質環境		3.0	0.25		-	3.0
4.1 発生源対策		3.0	0.50		-	
1 化学物質汚染		3.0	1.00	3.0	-	
2 防カビ対策					-	
3 防カビ対策					-	
4 レジリエンス対策					-	
4.2 換気		3.0	0.30		-	
1 換気量		3.0	0.33	3.0	-	
2 自然換気性能		3.0	0.33	3.0	-	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	3.0	-	
4 給気計画					-	
4.3 運用管理		3.0	0.20		-	
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50		-	
2 喫煙の制御		3.0	0.50		-	
Q-2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.0
1 機能性		2.8	0.40		-	2.8
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.60		-	
1 広さ・収納性		3.0	0.33	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33	3.0	-	
3 バリアフリー計画		3.0	0.33		-	
1.2 心理性・快適性		2.6	0.40		-	
1 広さ感・景観	天井高3.0mで1室の面積が500㎡程度確保している	4.0	0.33	3.0	-	
2 リフレッシュスペース		1.0	0.33		-	
3 内装計画		3.0	0.33		-	
2 耐用性・信頼性		3.0	0.31		-	3.0
2.1 耐震・免震		3.0	0.48		-	
1 耐震性		3.0	0.80		-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.33		-	
1 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.29		-	
2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.12		-	
3 配管・配線材の更新必要間隔		3.0	0.29		-	
4 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.29		-	
2.3 定期的更新					-	
1 屋上・屋根・外壁仕上げ材の更新					-	
2 配管・配線材の更新					-	
3 主要設備機器の更新					-	
2.4 信頼性		3.0	0.19		-	
1 空調・換気設備		3.0	0.20		-	
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20		-	
3 電気設備		3.0	0.20		-	

	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
	5	通信・情報設備		3.0	0.20		-	
3	対応性・更新性			3.3	0.29		-	3.3
	3.1 空間のゆとり			3.0	0.31		-	
	1	階高のゆとり		3.0	0.60		-	
	2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40		-	
	3.2 荷重のゆとり		事務所床荷重を5000N/m ² 設定している	4.0	0.31		-	
	3.3 設備の更新性			3.1	0.38		-	
	1	空調配管の更新性	天井裏及びパイプスペースでの工事が可能	4.0	0.17		-	
	2	給排水管の更新性		3.0	0.17		-	
	3	電気配線の更新性		3.0	0.11		-	
	4	通信配線の更新性		3.0	0.11		-	
	5	設備機器の更新性		3.0	0.22		-	
	6	バックアップスペース		3.0	0.22		-	
Q-3	室外環境(敷地内)			-	0.36		-	3.0
	1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30		-	3.0
	2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	3.0
	3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30		-	3.0
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50		-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50		-	
LR	建築物の環境負荷低減性							3.2
LR-1	エネルギー			-	0.40		-	3.5
	1 建物の熱負荷抑制		外壁材料をALCとし、窓ガラスはペアガラスとする	5.0	0.13		-	5.0
	2 自然エネルギー利用			4.0	0.25		-	4.0
	2.1	自然エネルギーの直接利用	自然採光の窓面積及び採風兼用の外倒し窓の設置	5.0	0.50		-	
	2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50		-	
	3 設備システムの高効率化			3.0	0.37		-	3.0
	4 効率的運用			3.0	0.25		-	3.0
	4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	
	4.2	運用管理体制		3.0	0.50		-	
LR-2	資源・マテリアル			-	0.30		-	3.0
	1 水資源保護			3.0	0.15		-	3.0
	1.1 節水			3.0	0.40		-	
	1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.0	0.60		-	
	1	雨水利用システム		3.0	0.67		-	
	2	雑排水利用システム		3.0	0.33		-	
	2 低環境負荷材			3.0	0.85		-	3.0
	2.1 資源の再利用効率			3.0	0.35		-	
	1	躯体材料の再利用効率		3.0	0.67		-	
	2	非構造材料の再利用効率		3.0	0.33		-	
	2.2 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.04		-	
	2.3 有害物質を含まない材料			3.0	0.08		-	
	2.4 既存建築躯体などの再利用			3.0	0.18		-	
	2.5 部材の再利用可能性			3.0	0.18		-	
	2.6 フロン・ハロンの回避			3.0	0.18		-	
	1	消火剤		3.0	0.33		-	
	2	断熱材		3.0	0.33		-	
	3	冷媒		3.0	0.33		-	
LR-3	敷地外環境			-	0.30		-	3.2
	1 大気汚染防止			3.0	0.15		-	3.0
	2 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.15		-	3.0
	2.1	騒音		3.0	0.33		-	
	2.2	振動		3.0	0.33		-	
	2.3	悪臭		3.0	0.33		-	
	3 風害、日照障害の抑制			3.0	0.15		-	3.0
	3.1	風害の抑制		3.0	0.70		-	
	3.2	日照障害の抑制		3.0	0.30		-	
	4 光害の抑制		ブラインドの設置 外壁は艶の無い仕上げ	4.0	0.10		-	4.0
	5 温熱環境悪化の改善			3.0	0.30		-	3.0
	6 地域インフラへの負荷抑制			4.0	0.15		-	4.0
	6.1	雨水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
	6.2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
	6.3	交通負荷抑制	専用の駐輪場及び駐車場の設置 通勤時間帯をずらす配慮	5.0	0.25		-	
	6.4	廃棄物処理負荷	工場廃液の専用処理施設の設置 下水道への排水量チェック	5.0	0.25		-	

LR-1 用途別得点表		工場	事務所	-	-	面積按分 総合スコア
		2028 m ²	1556 m ²	-	-	
1	建物の熱負荷抑制	-	5.0	-	-	5.0
3	設備システムの	-	5.0	-	-	5.0
	ERRによる評価	-	-	-	-	
	高効率化	-	-	-	-	
3.1	空調設備	-	-	-	-	
3.2	換気設備	-	-	-	-	
3.3	照明設備	-	-	-	-	
3.4	給湯設備	-	-	-	-	
3.5	昇降機設備	-	-	-	-	